

20190619

吹上しょうぶ公園&塩船観音寺

しょうぶ&紫陽花

ウォーキング 2019

青梅線 河辺へ (kabe です)

今週は中学の試験ウィークで、外部指導員のお役目はお休みです。おかげさまで、気ままなウォーキングを計画している。

一昨日 17 日 (月) は五日市線秋川の「サマーランドあじさい園」に行かせてもらい、本日 19 日 (水) は青梅線の河辺駅からのスタート。荻窪駅を 9:26 発の青梅行きに乗り、10:21 河辺着 ¥550。

北口駅前に出ると大きなビル 2 棟が対いで建っており、10 年ほどの以前とは随分と景観が変わっている。



吹上しょうぶ公園へ

都バスの青梅行きに乗車。塩船観音寺入口の 2 つ先、吹上しょうぶ公園入口にて 10:40 下車。バスからは、大勢のオーバーチャンたちが賑やかに公園に向けて歩き出す。バス停から 3 分と掛からずに公園入口に。



今日は菖蒲まつりの期間中で、200 円の入場料を払って花菖蒲を見せて頂く。同園は勝沼城址歴史環境保全地域の谷戸を菖蒲園としており、200 種ほどのショウブが品種ごとに畝に列植されている。花菖蒲は、まだ若いのか花卉のサイズが多少とも小ぶりのものが多いように思われる。



菖蒲池の水は今日は抜かれていて、水に映る効果がなくて、乾いて見えるのは残念。しょうぶ池の間を木製のデッキを巡らせているので、見て回るには安全だ。





品種名札も黒板に白文字で、きっちりしている。菖蒲の世話をする方のいでたちが、それらしく格好良い。



園内を一周し、南端の池に咲く水蓮に安らぎを感じつつ次の塩船観音寺へと向かう。モネの晩年の心境？？？



塩船観音寺へ

東南方向へ抜ける道を5分ほど進んで行くと、バス通りに戻る。一つ目のバス停をもう半分ほど進んだところに観音寺入り口の看板があり、観音通りの表示がある。

京都の山寺の道中を思わせる、両側をごろた石で積んだ切通しや、孟宗竹の竹林の狭間を通り抜けて往く。



一つ丘を越え、谷間が開けると5分程先に観音寺の山門（仁王門）が現れる。



観音寺は、京都醍醐寺真言宗醍醐寺別本山としての位置づけで、室町時代に建立

された本堂・阿弥陀堂など重要文化財に指定されている。ツツジは17000株もが、谷戸一面を覆いつくすとも。今はその季節を終え、グリーンの株が船底状の谷戸を覆い尽している。観音寺は新東京百景にも選ばれている。



山門内の仁王様が年代を物語っている。





夫婦杉…左右に対で



阿弥陀堂



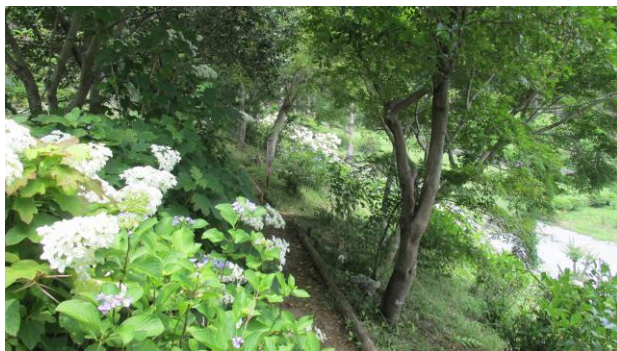
本堂

一つ東側の谷戸が、本日の目的地である。そこには、紫陽花があちらこちらに植えられ、本堂の右手に進むと、谷戸が霞丘陵自然公園の一部として景観を造っている。



本堂横に紫陽花コースの入り口が

寺主は、よっぽど柏葉紫陽花が好きなようで、柏葉を群生させている。次に多いのが青紫色の所謂「紫紫陽花」である。



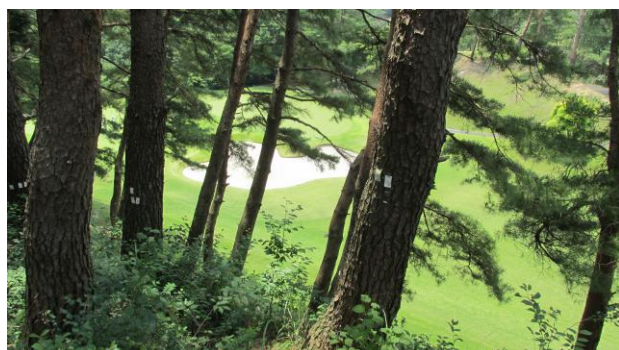


ツツジの谷戸と紫陽花の谷戸を分ける峰部分にある巡路を登って行くと鐘楼があり、一突き 100 円で厄払いが出来るとのこと。「来年のショウブウォーキングが好天のうちに出来ますように」と願いを込めて鳴り響かせて頂いた。

頂上には、平和を願う大きな観音像がお立ちになっておられる。2010 年の建立とのこと。



境内を示す金網ネットを超えるとすぐにゴルフ場となっていて、プレイヤーの談笑する声が聞こえてくる。



本堂に向けて左手西側の峰を下りて行く。総てがツツジの合間の道を下って行く。



本殿が谷戸の中心部に据えられている。5月のつつじ祭りの頃は、200円の拝観入場料が必要なようだ。



今日の天気は、晴れ時々曇りで、汗を掻いたかと思うと曇ってそよ風が汗を払ってくれるというウォーキング日和。さすが観音様は年寄の足を気にしてくれている。そういえば谷戸は、手の平の中のような。

河辺駅へ

観音威を出ると、吹上中学・吹上小の西側を通り過ぎ、弓なりに真南に河辺方向へウォーキング。河辺駅への案内表示が、間違い易い箇所に建てられていて有り難い。



吹上中学横の表示は1.8kmが消えれています

こんな处にも茶畑があるのかと驚かせる結構な面積である。



この道は、河辺駅北大通りにほぼ連絡している。青梅街道を渡るとすぐにJR河辺駅。



本日のウォーキングはこれにて終止符。12000歩程。予定もなく、場当たりのウォーキングの割には、天気にも恵まれて良い感じの行程であった。週2回のロングウォーキングのためなのか大腿二頭筋に張りを感じる。そろそろ良い年ごろかも。